

平成27年3月31日

クレジットカード不正使用被害の集計結果について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会（会長 大森 一廣）は、クレジットカードの不正使用の実態を明らかにするため、クレジットカード発行会社を対象としたクレジットカード不正使用被害実態調査を継続的に実施しており、このたび、平成26年第4四半期（10月～12月分）の集計値をとりまとめました。

平成26年の調査から新たに、対象を4社追加して計45社から回答を得るとともに、偽造カード等を作成することなく不正に取得されたカード情報のみで不正使用される手口である「番号盗用」について調査し、その被害額を公表することといたしました。

これによると、今四半期の不正使用被害額は、27.0億円で、前期比では2.9%の減少、不正使用被害額に占める偽造被害額は、5.6億円で、前期比40.0%の増加、また番号盗用被害額は、13.9億円で、前期比16.3%の減少となりました。

平成26年10月～12月分集計値

別紙「クレジットカード不正使用被害の発生状況」参照

◎お問い合わせは下記までお願いいたします。
一般社団法人日本クレジット協会 消費者・広報部
〒103-0016 中央区日本橋小網町14番1号
住生日本橋小網町ビル
TEL 03-5643-0011

クレジットカード不正使用被害の発生状況

(単位：億円、%)

期 間	クレジットカード不正 使用被害額	クレジットカード不正使用被害額の内訳					
		偽造カード被害額		番号盗用被害額		その他不正使用被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比	被害額	構成比
平成26年(1月～12月)	105.9	18.4	17.4%	59.7	56.4%	27.8	26.2%
(1月～3月)	24.3	3.9	16.0%	14.1	58.0%	6.3	26.0%
(4月～6月)	26.8	4.9	18.3%	15.1	56.3%	6.8	25.4%
(7月～9月)	27.8	4.0	14.4%	16.6	59.7%	7.2	25.9%
(10月～12月)	27.0	5.6	20.7%	13.9	51.5%	7.5	27.8%

1. 日本クレジット協会の調査による。
2. 調査対象は、国際ブランドカードを発行している会社を中心に、銀行系カード会社、信販会社、流通系クレジット会社、中小小売商団体等である。
3. 回答社数は45社である。なお、銀行系カード会社はFC/B C、並びに日本専門店会連盟、エヌシー日商連の各単会は、ブランド会社、連盟単位で1社としている。
4. 集計数字は、調査票提出会社の不正使用被害額を加算合計したものである。

〈参考1〉 クレジットカード偽造被害の国内・海外別内訳

(単位：億円、%)

期 間	クレジットカード 偽造被害額	クレジットカード偽造被害額の内訳			
		国内・被害額		海外・被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
平成26年(1月～12月)	18.4	4.5	24.5%	13.9	75.5%
(1月～3月)	3.9	0.7	17.9%	3.2	82.1%
(4月～6月)	4.9	1.3	26.5%	3.6	73.5%
(7月～9月)	4.0	1.2	30.0%	2.8	70.0%
(10月～12月)	5.6	1.3	23.2%	4.3	76.8%

〈参考2〉 クレジットカード番号盗用の国内・海外別内訳

(単位：億円、%)

期 間	クレジットカード 番号盗用被害額	クレジットカード番号盗用被害額の内訳			
		国内・被害額		海外・被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
平成26年(1月～12月)	59.7	36.2	60.6%	23.5	39.4%
(1月～3月)	14.1	8.5	60.3%	5.6	39.7%
(4月～6月)	15.1	9.1	60.3%	6.0	39.7%
(7月～9月)	16.6	9.7	58.4%	6.9	41.6%
(10月～12月)	13.9	8.9	64.0%	5.0	36.0%

〈参考3〉 平成9年～平成25年 クレジットカード不正使用被害の発生状況

(単位：億円、%)

期 間	クレジット カード不正使 用被害額	クレジットカード不正使用被害額の内訳			
		偽造カード被害額		その他不正使用被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
平成 9年(1月～12月)	188.0	12.0	6.4%	176.0	93.6%
平成10年(1月～12月)	216.0	28.0	13.0%	188.0	87.0%
平成11年(1月～12月)	271.7	90.9	33.5%	180.7	66.5%
平成12年(1月～12月)	308.7	140.2	45.4%	168.5	54.6%
平成13年(1月～12月)	275.7	146.4	53.1%	129.3	46.9%
平成14年(1月～12月)	291.4	165.0	56.6%	126.4	43.4%
平成15年(1月～12月)	271.8	164.4	60.5%	107.4	39.5%
平成16年(1月～12月)	186.4	105.6	56.7%	80.8	43.3%
平成17年(1月～12月)	150.4	83.4	55.5%	67.0	44.5%
平成18年(1月～12月)	105.3	45.6	43.3%	59.7	56.7%
平成19年(1月～12月)	91.8	39.1	42.6%	52.7	57.4%
平成20年(1月～12月)	104.1	52.5	50.4%	51.6	49.6%
平成21年(1月～12月)	101.6	49.2	48.4%	52.4	51.6%
平成22年(1月～12月)	92.1	41.3	44.8%	50.8	55.2%
平成23年(1月～12月)	78.1	25.8	33.0%	52.3	67.0%
平成24年(1月～12月)	68.1	24.1	35.4%	44.0	64.6%
平成25年(1月～12月)	78.6	25.8	32.8%	52.8	67.2%
(1月～ 3月)	16.8	6.0	35.7%	10.8	64.3%
(4月～ 6月)	19.2	6.6	34.4%	12.6	65.6%
(7月～ 9月)	21.0	6.5	31.0%	14.5	69.0%
(10月～12月)	21.6	6.7	31.0%	14.9	69.0%

1. 日本クレジット協会の調査による。
2. 調査対象は、国際ブランドカードを発行している会社を中心に、銀行系カード会社、信販会社、流通系クレジット会社、中小小売商団体等である。
3. 回答社数は41社である。なお、銀行系カード会社はFC/BC、並びに日本専門店会連盟、エヌシー日商連の各単会は、ブランド会社、連盟単位で1社としている。
4. 集計数字は、調査票提出会社の不正使用被害額を加算合計したものである。

〈参考4〉 平成9年～平成25年 クレジットカード偽造被害の国内・海外別内訳

(単位：億円、%)

期 間	クレジット カード 偽造被害額	クレジットカード偽造被害額の内訳			
		国内・被害額		海外・被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
平成 9年(1月～12月)	12.0	6.0	50.0%	6.0	50.0%
平成10年(1月～12月)	28.0	18.8	67.1%	9.2	32.9%
平成11年(1月～12月)	90.9	76.2	83.8%	14.7	16.2%
平成12年(1月～12月)	140.2	105.8	75.5%	34.4	24.5%
平成13年(1月～12月)	146.4	118.9	81.2%	27.5	18.8%
平成14年(1月～12月)	165.0	143.4	86.9%	21.6	13.1%
平成15年(1月～12月)	164.4	139.9	85.1%	24.5	14.9%
平成16年(1月～12月)	105.6	82.1	77.7%	23.5	22.3%
平成17年(1月～12月)	83.4	64.2	77.0%	19.2	23.0%
平成18年(1月～12月)	45.6	31.7	69.5%	13.9	30.5%
平成19年(1月～12月)	39.1	25.0	63.9%	14.1	36.1%
平成20年(1月～12月)	52.5	38.0	72.4%	14.5	27.6%
平成21年(1月～12月)	49.2	32.6	66.3%	16.6	33.7%
平成22年(1月～12月)	41.3	28.7	69.5%	12.6	30.5%
平成23年(1月～12月)	25.8	18.5	71.7%	7.3	28.3%
平成24年(1月～12月)	24.1	14.9	61.8%	9.2	38.2%
平成25年(1月～12月)	25.8	15.0	58.1%	10.8	41.9%
(1月～ 3月)	6.0	3.4	56.7%	2.6	43.3%
(4月～ 6月)	6.6	3.9	59.1%	2.7	40.9%
(7月～ 9月)	6.5	3.7	56.9%	2.8	43.1%
(10月～12月)	6.7	4.0	59.7%	2.7	40.3%